2006 年 3 月 20 日

セクター：卸売り業

ケイティケイ株式会社 (3035 JASDAQ)

良くも悪くも、業績は手堅く、横這い

価格競争の激しい OA サプライ用品の卸売り業態の中にあって、リサイクル商品での強みをもって、なんとか業績を維持しているという印象を受ける。今期予想 EPS は約 45 円となっており、今後もこの水準を維持していくと想定する。

公募価格は 600 円付近で想定されており、前記 EPS での想定公募価格の PER は約 13 倍と、ほぼ適切なディスカウントがされていると考えられる。

連結データ (左肩は対前年比 (%)、06.5期予想は個別)

	04/5	05/5	05/11中	06/5会予
売上高 (百万円)	9,851	3.5% 10,198	5,030	10,272
営業利益 (百万円)	288	-0.4% 286	138	--
経常利益 (百万円)	279	-0.1% 279	128	244
当期利益 (百万円)	129	29.1% 167	106	171
総資産 (百万円)	4,569	4,599	4,959	--
純資産 (百万円)	1,545	1,682	1,760	--
株主資本比率 (%)	33.8%	36.6%	35.5%	--
ROA (%、経常利益ﾍﾞｰｽ)	6.1%	6.1%	2.6%	--
ROE (%、当期利益ﾍﾞｰｽ)	8.4%	9.9%	6.0%	--
発行済株式数(修正後、千株)	3,675	3,675	3,675	3,675
EPS(円/株)	35.16	45.40	28.73	46.53
BPS(円/株)	420.5	457.6	478.8	--
配当(円/株)	7.5	7.5	--	--

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的とし、証券の売買勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。最終ページに当資料の利用に関する重要な注意事項を掲載していますのでご覧ください。

事業概要～リサイクル商品、OA サプライ商品、IT 商品等のオフィス関連商品の卸売り

当社グループは、当社と連結子会社 1 社から構成されており、トータルオフィスサプライヤーとして、リパックトナー等のリサイクル商品、トナーカートリッジ等の OA サプライ商品、セキュリティーソフト等の IT 関連商品など、オフィス関連商品の販売を行っている。

リサイクル商品では、トナーカートリッジの再生品であるリパックトナーやインクリボンの再生品であるリパックリボンについて、顧客から預かった使用済みのトナーカートリッジ等を単品再生履歴管理のもとにリサイクルし、元の顧客に返却する当社独自のシステムを採用している。連結子会社は、当社が販売するリサイクル商品についての再生業務を行っている。

収支の状況～競合激化の中、リサイクルでの強みを発揮することで、業績を維持

大きな成長力は無いものの、業績は堅調に推移している。企業のコンピュータ印字装置がドットプリンタからレーザープリンタへ移行しており、リサイクルインクリボンやトナーカートリッジの需要が増加していることが、これを支えている。05.3 期は更に前期に立ち上げた当社グループ独自の Web 受注システムでの会員数が約 3,200 社まで増加したことで、そこから販売される文具･ステーショナリー商品の販売が好調だったことも、全体の販売増加に寄与している。

ただ、OA サプライ業界自体としては、メーカー系販売会社を含めた競争が激しくなっていることから、販売価格の下落を招き、利益率は低下傾向にある。

06.5 期の会社発表業績予想でも、上記のような増益要因と減益要因とが相殺された結果、売上高でも利益ベースでも、ほとんど前 05.5 期と同等の水準での着地が予定されている。今後も、現状の利益水準を維持すると考えるのが、現時点では妥当な判断だろう。

[表 1 品目別の販売実績]

	05.5 期	前期比	05.11 中
リサイクル商品	2,519	+2.0%	1,283
OA サプライ商品	7,121	+3.1%	3,420
IT 商品	239	+0.4%	123
その他	317	+35.5%	203
合計	10,198	+3.5%	5,030

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的とし、証券の売買勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。最終ページに当資料の利用に関する重要な注意事項を掲載していますのでご覧ください。

なお、現時点で業績に直接影響を与えるものではないが、ﾘｻｲｸﾙ事業とﾄﾅｰｶｰﾄﾘｯｼﾞﾒｰｶｰが所有する知的所有権の問題、つまりﾒｰｶｰが知的所有権を持つ製品の使用済み品を利用してﾘｻｲｸﾙ業者が製品化することについて、ﾒｰｶｰとﾘｻｲｸﾙ業者の間には契約や合意等はなされていない模様である。これについての訴訟ﾘｽｸ等の発生可能性が、将来的には残っている。

株式の状況～ｽﾄｯｸｵﾌﾟｼｮﾝ等は無し、VC 保有株の大半はﾛｯｸｱｯﾌﾟ対象

06 年 3 月時点の発行済み株式数は 3,175 千株（取引単位は 1,000 株）、上場にあたっての公募が 500 千株、売り出しが 150 千株（うち 110 千株は会社関係者、40 千株はベンチャーキャピタル）予定されている。ｽﾄｯｸｵﾌﾟｼｮﾝ等の希薄化要素はない。以上から、上場時点の想定発行済み株式数は 3,675 千株とした。

目論見書での想定仮条件は550～600円で、この平均価格575円に基づく公募による当社手取り概算額は、約 267 百万円とされている。資金使途は、今後計画している設備投資資金と借入金の返済に充当する予定。

売り出し人を含めた上位株主 7 名とベンチャーキャピタル 1 社には 180 日間のﾛｯｸｱｯﾌﾟが付与されている。売り出し分を含めたﾛｯｸｱｯﾌﾟ対象は1,852,450株であり、売り出しを除いた実質ﾛｯｸｱｯﾌﾟ対象は、約 1,700 千株となる。発行済み株式数の約半数はﾛｯｸｱｯﾌﾟがかかっている状態となるが、ﾛｯｸｱｯﾌﾟ対象となっていないベンチャーキャピタルの保有株が 120 千株と、ｳｴｲﾄとしては小さいものの、若干存在する。

情報開示の状況～開示は既にあり、悪くはない水準だが

当社ｳｴﾌﾞｻｲﾄには、既に投資家向け情報開示のページが設置されている。現在掲載されているｺﾝﾃﾝﾂは、財務ﾊｲﾗｲﾄと決算公告となっている。特に悪くはない開示水準だが、上場関連のﾆｭｰｽﾘﾘｰｽ･資料掲載と、ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ･ﾒｯｾｰｼﾞの掲載を希望する。

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的とし、証券の売買勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。最終ページに当資料の利用に関する重要な注意事項を掲載していますのでご覧ください。

本資料における個別銘柄に関する注意事項

- EPS･BPS･株主資本比率の計算の元となる、純資産･総資産･株主資本は、各決算期末時点の会社公表数値を用いている。発行済株式数は、自己保有株を含まない。また、株式分割･公募増資･自己株買い入れ等を必要に応じて過年度を含めて修正している場合がある。
- 一株当りの配当は、株式分割･公募増資･自己株買い入れ等を必要に応じて過年度を含めて修正している場合がある。

その他の重要な注意事項

本資料は、投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたものであり、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資対象となる有価証券の価値や投資から得られる収入は、証券価格の変動のほか、発行体の経営･財務状況の変化、金利や為替相場の変動やその他の要因によって変化する可能性があり、投資額を下回る場合があります。また過去の実績は必ずしも将来の成果を示唆するものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いします。

本資料は、当社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成されたものですが、その情報の正確性･完全性を保証するものではありません。また、本資料に記された意見や予測等は、資料作成時点での当社の判断であり、今後予告なしに変更されることがあります。

本資料の著作権は当社に帰属し、その目的のいかんを問わず無断で本資料を複写･複製･配布することを禁じます。

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的とし、証券の売買勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。最終ページに当資料の利用に関する重要な注意事項を掲載していますのでご覧ください。